

藤

本

窯

の

し

お

り

final edition

2004.8.22

International Character & Hobby Collection 2004



藤本窯PRESENTS

『機動戦士ガンダム』(1979)

マ・クベの壺

原型製作／P・藤本(ぼったーふじもと) © 2004・藤本窯

キャラホビ参加者の皆様こんにちは。陶磁器立体サークル「藤本窯」です。色々ありまして幕張に来ております。(シクシク)

さて、今回出品する当サークルの最終アイテムは、日本アニメ史上最も有名な陶器である、いいものであります。

真正正銘の陶磁器。セラミックなポーンチャイナであるところのメイド・イン佐賀県有田町の紛う事なき炎と土の結晶。

ガレージキットとゆるより調度品と呼ぶにふさわしい品格は実際に触って……否、指で弾いてみればたち

どころにご理解いただけ
るでありますよう。

シッツ・ポーン



処女作「總統グラス(宇宙戦艦ヤマト)」より五年。同人誌を主戦場とするメンツによるなりゆき立体活動、その畢生の大作をとくとご覧あれであります。

いい音色
だろ？

…おお、ウラガン、あの壺を
キシリア様に届けてくれよ、
あれはいい物だ

あるの？



イイモノ



まだいるぞ



本当にあった壺の話

ガンダム本編とは関係ないので簡単に述べますが、「マ・クベの壺」にはモデルが実在します。

それは中国北宋期 (960 ~ 1127) の名窯「定窯」で作られた刻花仰覆蓮龍首流浄瓶 (じょうへい) といい、当サークルではこれをオリジナルと断定しています。(下図参照)

この龍首流浄瓶、正しくは壺ではなく瓶に該当する陶器であることは、陶磁器立体サークルとして一言添えておきます。

でも、“あの瓶はいいものだー!” じゃ語感が悪い。壺と呼ばれてこそこの名セリフという事実には異議はございませんとも。ええ。



~~※もう少し詳しい内容は Web で「遊星的回遊」を検索すると、そのサイト中に「藤本窯アーカイブス」とゆーのがありますので、その「2003年夏カタログ」に本稿の元情報があります。~~

あんなにいいものだったのに〜♪

マ・クベの壺黒歴史



二〇〇三年夏、絶対無理な「ワンダーフェスティバル」での販売が実現寸前だった事を、人は、歴史の皮肉とか、ガイアのドムに隊長マークの角がついてたらと悔やむのだろうか？

シベリアに

突破口あり

二〇〇二年公開の富野悠

由季監督作品『オーバーマン・キングゲイナー』中に

いいものが出てくる……

監督自らのセルフパロディ

イカスタッフの遊び心なの

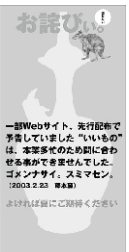
かはさておき、この出来事を持ってワンフェスに版權申請できないものかとゆるい目論見が生まれた訳ですよ。



なお、製作については某ゲームのノベルティとして作られたマ・クベの壺に対し、本物はこんなものではない。とゆるい陶磁器業界関係者である原型師の反骨心があった事も記しておきます。

2003.2.23

で、二〇〇二年冬のワンフェスに原型公開の予定でしたが、原型師多忙で間に合わず最初の「！」お詫びがブリスに登場。



2003.8.3

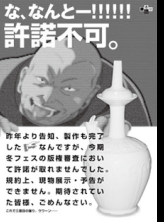
そして、二〇〇三年夏のワンフェスで『オーバーマン・キングゲイナー／シベ鉄の壺』として版權申請許諾の快挙！……超アクロパットの裏技オーバースキルでイケイケムード満点の藤本窯でしたが、肝心の品物が依頼していた窯屋さんの本業多忙で間に合わず、原型展示のみに……お詫びポップ第二弾の登場の憂き目とあいなりました。

この世で一番肝心なのは素敵なタイミングとゆるい事なのだからか？ 無念。



2004.2.22

結果、今年二月のワンフェスに同様の申請をしました。が版權が下りず、(ディーラー参加の方なら察しはつくよな) 用意していた製品版の登場を待たずして、藤本窯最大のオペレーション「他人のソラ似でよしなに」計画は水泡と帰したのであります。



仏の顔も三回目なお詫びポップ作成。が、今回のキャラホビ参加により、これまでの苦境も対消滅する事でありましょう。そう、アナタの手によつて……セルストークかよー！

良い物なのでありますか？ 北宋だ。北宋だ。

活動休止のお知らせ

皆様 5年もの間、当サークルをご支持、ご支援
頂きまして、誠にありがとうございます。

今回の活動休止は、原型師であるP藤本さんの本
業多忙のためが大きいのですが、またこの壺に続く
イイネタがありましたら、いつか復活したいと思っ
ております。(イイネタがありましたら、メールにて
リクエストしてくださいね)

「藤本窯」としての活動は休止となりますが、遊
星ランプの作者でもあり、当藤本窯の企画広報担当
の poopera さんが、個人サークル「ラブタコス」で
活動を続けられます。立体サークルの有る意味異端
(笑)な活動精神を、これからも心の中に燃やしなが
ら生まれ出る新作を期待してくださいね。

それでは最後に、私も壺をはじきながら、シメの
言葉とさせていただきます。

「良いものを制作(プロデュース)するために生ま
れてきて良かった」

皆様またお会いする日まで……

2004.7.26 記 DUN (藤本窯プロデューサー)

International Character & Hobby Collection 2004

[藤本窯のしおり2004年・夏]

2004年8月22日発行

●お問い合わせ先

DUN (だん) ここにメールアドレスが記載してあったですよ
ここに東京の連絡先住所が記載してあったですよ

●インフォメーション

RPG カンパニー 2 <http://www.rpgcompany.com/>



総統グラス
(2000)



ガス生命体グラス
(2002)



遊星ランプ
(2003)



マクベの壺
(2004)